

横越町の歩んだ道を眺めてみよう

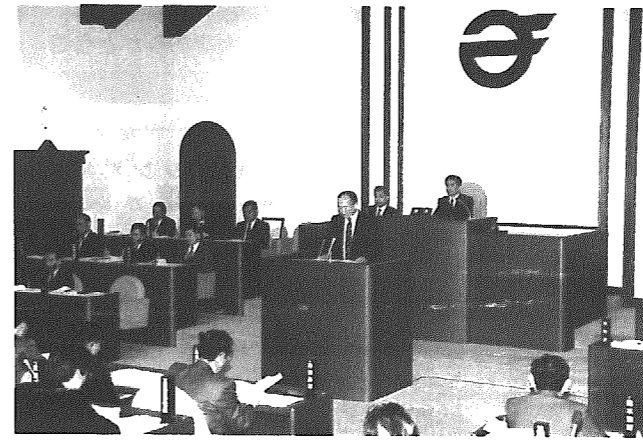
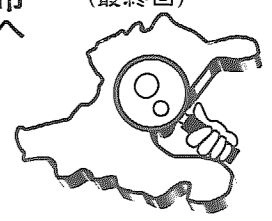
横越歴史探訪 13 (最終回)

村から町へ 世界へ羽ばたく政令指定都市へ

横雲バイパス開通

明治8年に阿賀野川に横雲橋が架けられて以来、木橋・永久橋の横雲橋は、新潟と福島を結ぶ大動脈として年々その重要度は増し、また、経済成長による交通量の増加に

よって、交通渋滞が問題になってきました。平成元年度から横雲バイパスの建設に着手。平成7年12月、横越・京ヶ瀬間、平成16年3月には横越・亀田間が開通し、交通渋滞の緩和、人家に与える騒音等の減少など、生活環境の向上につながっています。



また、平成9年には大阿賀橋が開通。新潟大外環状線の整備も進められ、横越町は新潟地域の交通の要衝としてますます重要となってきました。

昭和28年に町村合併促進法の制定により、亀田郷1町4か村(亀田町、両山村、横越村)が合併の勧告を受けましたが実現できず、行政的に



平成8年11月1日、町制施行

への気運が盛り上がりつつあった。このころ、平成12年、委員に町内の自治会や企業等の各団体から30名が任命されて、10月30日の第1回合併調査委員会開催以降、合併問題について審議を重ねました。

平成13年7月12日、第7回合併調査委員会が開催され、答申案について全会一致で承認。佐久間正夫委員長から浅見良一町長へ、新潟市等との任意の合併協議会を設立することなどを求める内容が答申されました。

これは、政令指定都市の実現を目指した広域合併を進めていくためには、協議会の一本化が望ましいとの判断から決定されたものです。また、新潟市・亀田町・横越町合併問題協議会が、政令指定都市を目指した新潟地域の広域合併に向けて先駆的な役割を果たし、大きな功績を残したことも合わせて確認されました。

新潟地域合併問題協議会は、合わせて9回開催され、各種事務事業や合併設計計画の取り扱いについて協議が行われました。

平成13年8月21日、浅見町長と長谷川新潟市長、阿部亀田町長の三者会談が新潟市内で開かれ、任意の合併協議会を設置すること、各市町の9月議会において協議会設置に関する予算案を提案することについて合意。三者会談には、横越町の神田議長のほか、新潟市・亀田町の両議長も立会人として同席しました。

第1回協議会は同年11月20日に開催。その後、新潟市周辺の市町村も合併協議会に加わりたいとの意向を表明したことから、翌年8月2日の第3回協議会において、白根市、豊栄市、西川町、味方村、湯東村、月潟村、中ノ口村との任意協議会と1市2町協議会の本体化が承認され、新潟地域合併問題協議会として合併協議が進められることになりました。

新潟市・亀田町・横越町 任意の合併協議会設置へ

平成13年8月21日、浅見町長と長谷川新潟市長、阿部亀田町長の三者会談が新潟市内で開かれ、任意の合併協議会を設置すること、各市町の9月議会において協議会設置に関する予算案を提案することについて合意。三者会談には、横越町の神田議長のほか、新潟市・亀田町の両議長も立会人として同席しました。

合併問題住民懇談会

合併協議会が進む中、住民の皆さんに合併のメリットや将来像について理解してもらおうと、平成15年10月から11月にかけて、町内10地区で新潟地域合併問題住民懇談会を開催しました。

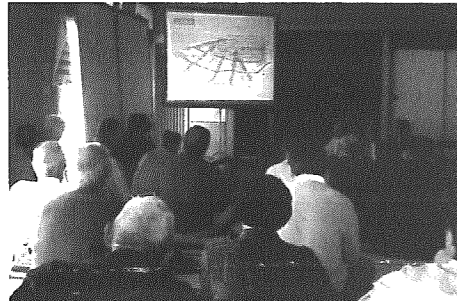
懇談会では、市町村合併の必要性と政令指定都市の実現による生活の変化、任意協議会で合意された事項について説明がありました。

参加者から合併後の住所や学区、税金、二本木地区の新駅設置など多方面にわたって質問がありました。

また、各地域で開催されている町政懇談会や、平成14年

合併に向けた動き

- 明治34年
- 11月 5か村合併し、横越村誕生
- 昭和20年代～30年代
- 新潟市との合併を見送る
- 平成8年
- 11月 町制施行、記念式典開催
- 平成10年
- 3月 横越町第四次総合計画策定
- 平成11年
- 3月 新潟都市圏総合整備推進協議会「田園型政令都市・新潟」発表
- 平成12年
- 10月 横越町合併調査委員会設置条例可決
- 11月 「新潟都市圏の将来像を考えるシンポジウム」が当町で開催される
- 12月 議会内で横越町市町村合併調査特別委員会設置
- 平成13年
- 2月 新潟県市町村合併促進要綱が発表され、「横越町は、政令指定都市を目指す新潟市との合併」とする合併パターンが示される
- 3月 新潟地域広域市町村圏協議会、第四次新潟地域広域市町村圏計画発表
- 8月 新潟市、亀田町、横越町の3市町長による首長会談
- 11月 合村100周年・町制施行5周年記念行事開催 第1回新潟市・亀田町・横越町合併問題協議会開催
- 平成14年
- 8月 第3回新潟市・亀田町・横越町合併問題協議会開催。1市2町協議会を解消し、10市町村で新しい合併協議会設立に合意
- 8月～9月 市町村合併(将来のまちづくり)懇談会を町内10地区で開催
- 9月 第1回新潟地域合併問題協議会開催
- 平成15年
- 10月～11月 町内10会場で合併問題住民懇談会開催
- 平成16年
- 1月 12市町村による新潟地域合併協議会設置について町議会で可決
- 第1回新潟地域合併協議会(法定協議会)開催
- 3月 第4回新潟地域合併協議会開催。合併協定書調印
- 4月 合併関連議案、町議会で可決
- 7月 12市町村、県知事へ廃置分合の届出
- 7月 総務省廃置分合告示
- 平成17年
- 3月 新潟市・周辺12市町村合併



平成15年に開催された合併問題住民懇談会

夏に開催された市町村合併懇談会などでも、合併について住民の皆さんに対して積極的に説明を行ってきました。

合併へ向けた協議会の動き

横越町市町村合併調査特別委員会設置

平成12年12月15日、町議会12月定例会において、町議会議員により構成される横越町市町村合併調査特別委員会を設置され、合併に関する調査検討を行うことになりました。

法定協議会設置議案可決

平成16年1月15日、第1回横越町臨時議会が開催され、12市町村による法定協議会設置の議案が可決。

また、平成16年3月14日の第4回新潟地域合併協議会での合併協定書の調印を受け、横越町議会3月定例会において、関係市町村の廃置分合及び配置分合に伴う財産処分、議会議員、農業委員会、地域審議会に関する協議の議案が提案・可決され、合併に向けて最終段階に入りました。



第4回法定協議会にて、合併協定書に調印

法定合併協議会終了 合併協定書に調印

平成16年3月14日の第4回新潟地域合併協議会で、浅見町長をはじめ関係12市町村長と、各市町村議会議員と平山新潟県知事が出席して、合併協定書の調印が行われました。

各市町村長、議長とも記念すべき調印を緊張した面持ちで行い、1年後の合併、その後の政令指定都市の実現に向け決意を新たにしていました。

調印のあと各市町村長、議長からあいさつがあり、浅見町長は長年にわたり合併に取り組み、このたびの調印に至ったことは、喜びに耐えません。日本海側唯一の政令指定都市を目指し、世界にはばたく都市を目指してまいります」とあいさつ。平山知事から「政令

指定都市実現に向け新潟県も支援を行いたい」と祝辞がありました。この合併協定書の調印により、平成17年3月21日の合併に向け大きく前進しました。

その後、13市町村長が揃って県知事へ廃置分合の届出を行い、7月には総務省が廃置分合を告示しました。

政令指定都市へ向けて

3月21日に13市町村が合併した後、10月10日には巻町が合併する予定で、人口は81万人になります。

平成19年の政令指定都市移行に向けて、現在、区割り案や制度の研究などが行われています。

新・新潟市は、日本海側初の政令指定都市として、国際拠点都市として、経済・文化・教育・福祉など多くの面でさらなる発展ができると見込まれています。

また、横越地域においては、JR新駅設置や、大外環状線と横雲バイパスとの交差点計画されています。交通の要衝、新潟市の食糧基地として、さらに、自然と産業、生活環境の充実が期待されています。

新・新潟市は、日本海側初の政令指定都市として、国際拠点都市として、経済・文化・教育・福祉など多くの面でさらなる発展ができると見込まれています。

また、横越地域においては、JR新駅設置や、大外環状線と横雲バイパスとの交差点計画されています。交通の要衝、新潟市の食糧基地として、さらに、自然と産業、生活環境の充実が期待されています。